

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1-1-1 議会事務局内
電話04-7150-6099(直通)FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の年4回発行です。ホームページアドレス <https://www.nagareyamagikai.jp/>

令和8年度一般会計予算を可決 「初石駅西口利用者の安全性向上を求め る決議について」を全会一致で可決(6:8面)



写真コンクール入賞作品 二居 隆司さん撮影の「二茶」のつるし飾り「撮影場所：二茶双樹記念館」
撮影の背景 もうすぐ、ひな祭りの日でした。「二茶双樹記念館」に、つるし飾りがありました。心が穏やかに、思わずシャッターを切っていました。

令和8年第1回定例会概要

2月19日の開会日には、市長から「令和8年度流山市一般会計予算」のほか、国の物価高騰に係る交付金と補助金を活用し実施する児童手当受給者にこども一人当たり2万円を支給する経費、水道の基本料金を免除する経費や学校給食の食材購入に関する経費などの「専決処分」の承認を求めることについて(令和7年度流山市一般会計補正予算(第5号))「および下花輪福祉会館の浴室について、市民以外の者の利用を可能とする」ともに、その利用料を定める「流山市福祉会館の設備及び管理

2月26日の市政に関する一般質問は、2月24日から26日の3日間にわたり、14人の議員が登壇し行われました。(要旨4・6面)

3月2日から5日までの4日間にわたり審査が行われ、予算審査特別委員会では、3月9日から11日および13日の4日間にわたり、審査が行われました。(要旨2・3面)

3月24日の最終日には、予算審査特別委員会、各常任委員会の委員長報告に対する質疑、議案・陳情に対する討論、採決が行われました。その後、議員からは「非核三原則

クローズアップ

こどもの権利をまちの理念にー議会の取り組み

流山市では、こどもをめぐる課題に対し、行政による施策や市民活動が着実に積み重ねられてきました。こうした取り組みが進む中、市長は所信表明演説において「こどもの権利に関する条例」の制定に取り組む方針を明らかにしました。条例制定により、こどもを未来の担い手としてだけでなく、今を生きる一人の市民として尊重し、その姿勢を将来にわたって引き継いでいこうとする方向性が示されたことは、大変意義深いものと受け止めています。

流山市議会教育福祉常任委員会では、これまで委員会における議論や全国の実地視察への視察を通じて、本市におけるこどもを取り巻く課題を整理してきました。具体的には、こどもの権利を包括的に位置づける仕組みの必要性、権利侵害時の相談・救済体制、不登校など多様な背景を持つこどもの学習機会の保障、こども・若者の意見表明や社会参画の場づくり、そして、こどもの権利や共生の理念を社会全

体に浸透させていくことの重要性などです。視察では、理念を明確に位置付けることが、行政施策や現場の実践に一貫性をもたらす、分野横断的な取り組みにつながっている事例も確認できました。

今後は、執行部において条例制定に向けた検討が進められていくこととなります。議会としては、これまでの委員会での検討や視察の成果を踏まえながら、そのプロセスや内容を丁寧に確認し、執行部に対し必要な

の堅持を求める意見書について、「重層的支援体制整備事業に対する方針転換に抗議し、十分な予算措置を求める意見書について」および「物価高騰を超える高齢基礎年金額の引き上げを求める意見書について」を含む5件の決議が提出され、質疑、討論、採決が行われました。(要旨6・8面)

市内在住・在勤・在学の方を対象に
写真コンクールの作品を募集中
詳細は6面をご覧ください。



令和8年度予算案を審議 一般会計予算額は896億9200万円



予算審査特別委員会の様子

令和8年度一般会計予算については、6人で構成する予算審査特別委員会が2月26日に設置され、3月9日から11日、および13日の4日間にわたり審査が行われました。その後、3月24日の本会議において、賛成多数をもって原案のとおり可決されました。本会議における一般会計予算に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

〔予算審査特別委員会〕

委員長	笠原 久恵	委員	渡辺 仁二
副委員長	中川 弘	委員	藤井 俊行
委員	桑畑 伴子	委員	おだきりたかし

予算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

こちらから
ご覧いただけます



流山市議会
予算審査特別委員会

検索

各会派等の意見表明

反対 日本共産党

反対理由の第1は、過去最大規模の予算、市民税が初めて200億円を超える豊かな財源が市民要求の実現に活かされていないからです。特に物価対策は、令和8年度は国費を活用した中学校給食費保護者負担軽減のみ。しかも令和6年度、物価対策の国費が「防犯パトroller」マグネットステッカーなどに使われており、市民向けの物価対策の軽視は許されません。理由の第2は、市民要望もなく、安全を脅かしかねない大型公共事業への巨額投資をするからで

賛成 流政会

本予算は、人口増加に伴う市税収入の着実な伸びを背景としつつも、扶助費の増大や物価高騰、さらには社会保障費の増の増加が見込まれる中で編成されたものであり、その舵取りには大変な苦労があったものと受け止めています。こうした厳しい財政環境の中にあっても、良質な住環境の維持を重視した都市政策や、教育・子育て分野への重点投資を明確に打ち出し、こども家庭センターの設置など切れ目のない支援体制の構築を進めている点は、高く評価します。

賛成 公明党

賛成の主な理由は、令和8年度に、①こども家庭センターが設置され、こども・若者の権利保障や、子育てに関する支援がさらに充実すること。②医療的ケア児等在宅レスパイト事業が導入され、介護するご家族の各種負担軽減が図られること。③避難行動要支援者への支援がより充実すること。④教育分野では、フリースクール補助制度を導入するとともに、特別支援教育のさらなる推進など、児童生徒に寄り添った施策の充実が図られること。⑤国際情勢が緊迫する中、

賛成 流山みらい

本予算案は、本市が目指す「教育の質の向上」と「共働き世帯への寄り添い」を具体化させた内容と評価し、賛成します。道路整備では「こもればストリート」に関連し、バリアフリー視点を持つた前向きな市長答弁を評価する一方、駅西口への進入道路が1本に減少することによる混雑時の深刻な渋滞に対し、万全な対策を強く求めます。子育て支援では、母子保健と児童福祉を一体化する「こども家庭センター」の開設、相談拠点の新設、3地域での計画的な保育

賛成 自由民主党

おおむね評価できることから賛成とし、以下6点評価・指摘します。①生物多様性モニタリング調査に対する市の取り組みに対し、予算措置を含む対策強化について表明した点は大きいと評価します。②流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業については、安全対策や関係機関との協議など、事前準備が不十分な状態であった点を踏まえ、指摘された課題に全力をもって取り組むことを求めます。③DMOについては、観光整備など、切れ目のない支援体制の構築を高く評価します。教育分野では、第2期GIGAスクール構想による校務DXと個別支援の強化、インクルーシブ教育の推進、探究型学習(PBL)への転換を支持します。また「夏休みこども教室」の新設や、民間委託による不登校児童生徒への多角的なアプローチも、多様な学びを保障する重要な施策です。以上の指摘事項を執行部は真摯に受け止め、今後の市政運営に反映させることを強く求め、賛成します。

会派に属さない議員
賛成 清水 大

議案第1号令和8年度一般会計予算案については、十分妥当性があり、おおむね賛成すべきとの結論に至りました。このもとち目線での学校設備の改修、答えのない教室の導入などの果敢なチャレンジは評価できます。議会念願のフリースクール通学助成については、大きな第一歩であると評価します。しかしながらその予算額は、本市の不登校児童生徒数から考えると心もとないものであり、要望があれば予算を補正するなど柔軟に対応することを要望します。

会派に属さない議員
賛成 矢口 輝美

本予算は、こども施策や教育など将来を見据えた内容であり、その方向性を評価し賛成します。特に、こども施策では組織を超えた連携と権利を守る仕組みの強化、教育では現場に無理なく定着する運用と人材確保が必要と見られます。また、都市整備については、優先順位や市全体のバランスを踏まえた判断が求められます。以上、本予算は本市の未来に向けた大切な一歩であると受け止め、令和8年度流山市一般会計予算について、賛成します。

会派に属さない議員
賛成 森田 洋一

行政サービス需要の増大、市債残高の膨張傾向により「今そこにある危機」の回避が急務です。原点回帰の発想、次世代に負担を残さない、たゆたえども沈まずの色彩が濃いですが、ブランド価値の安定、交流人口の増加、市民の活動機会提供などの根本的思想は変わらぬ、攻めと守りが表裏一体の内容です。未来指向のストーリー性ある事業展開と同時に、全ての人に温かく懐古の情を抱かせる、市民ひとりひとりがまちを作る歴史の主役であり続けることを期待します。

会派に属さない議員
賛成 楠山 栄子

本予算案は現下の物価高騰や不透明な経済情勢を的確に捉え、バランスの取れた予算と確信し賛成します。2点指摘要望します。①東部地域のまちづくり「地域が取り残されている」と失望の声があります。どの地域でも「流山に住んで良かった」と実感できる、実効性ある施策を最優先で展開すべきです。②高齢者人口が増加する中、住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、さらなる支援が不可欠です。特に、移動支援の抜本的な拡充は必須です。

本会議のインターネット中継で

手話通訳を実施しています

流山市議会では、令和元年第3回定例会から、本会議のインターネット中継に手話通訳の同時中継を実施しています。これは、平成31年4月1日施行の「流山市手話言語の普及の促進に関する条例」を受け、議会独自の取り組みとして開始したものです。

手話通訳は流山市などに登録している手話通訳者が交代で行い、傍聴席の一面に設置した手話通訳の専用スペースから生中継で配信しています。

議会中継は、市議会ホームページからご覧いただけます。どうぞご利用ください。



インターネット議会中継での手話通訳の様子

こちらからも
ご覧いただけます



流山市議会 議会中継

検索

議会共通指摘要望 (全32項目) 令和8年度一般会計予算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	(1) 通学路合同点検で要望されている横断歩道について、設置実現に向け、必要な働きかけをされたい。	誰もが自分らしく暮らせるまち	(4) 障害福祉事業所等のケアワーカーについて、処遇の実態把握に努め、必要な処遇改善を図られたい。
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	(1) 受動喫煙防止対策助成金に対しては、申請実績が低い要因を詳細に研究・分析し、周知方法の改善等により申請を増やす努力をされたい。	子どもをみんなで育むまち	(5) やさしいお店認定事業については、制度の周知とともに合理的配慮についても広く周知啓発を図り、雇用環境の更なる充実を図られたい。
	(2) 健康ポイント事業については、自主的な健康づくりの意識づけを行うために市民に広く周知を図られたい。		(1) 引き続き学校プールを使用する小学校における教員の負担軽減について確実に実施されたい。
	(3) 夜間小児救急をはじめ、救急医療の持続的な体制確保については、本市のみで完結できる問題ではないことから、補助金や負担金の投入や人的支援も視野に入れ近隣市と連携することにより、体制確保に努められたい。		(2) 特別支援教育推進事業については、障害等に対する専門的な知識を持つ教員の育成や、外部専門家との連携強化を図られたい。
	(4) 救急医療体制について、維持・充実を図るため、市内の救急医療機関における固定費等の実態把握に努め、必要な措置を図られたい。		(3) フリースクールに通う児童生徒の保護者に対し、授業料等の負担軽減に向けた補助制度の早期実施を図られたい。
	(5) 带状疱疹ワクチンの任意予防接種については、対象者への周知とともに効果や接種方法等についてもきめ細やかな周知を図られたい。		(4) フリースクール助成については、千葉県が行う補助に加えて上乘せ補助を実施されたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	(1) 喫煙所の設置については民間事業者との協議を進めるとともに、路上喫煙等指導員の必要な人員を早急に確保して指導や啓発に努め、路上喫煙をなくすための持続可能な体制を構築されたい。	体系外(市総合計画における6本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業)	(5) 深刻ないじめ事案については、学校・教育委員会・関係機関との初動段階からのスムーズな連携体制を整えるとともに、加害児童生徒の加害行動の背景にある心理的要因にアプローチする、心理教育的介入プログラムの研究を行われたい。
	(2) 流山市スズメバチ駆除費助成金については、市民の安全確保に直結する事業であるため、申請者数に対して予算の不足が生じないように予算額を増額されたい。		(6) 夏休みこども教室については、こどもたちが安全かつ安心して利用できる環境整備に努めるとともに、配慮が必要なこどもの受け入れ体制についても十分な対応策を講じられたい。
	(3) 真夏の酷暑から市民の命を守るため、涼み処の取組については、利用施設のさらなる拡充及び周知の強化を図り、誰もが安心して利用できる体制の整備を進められたい。		(7) 若者まちづくりプロジェクトの提案を、制度的に継続して市政に反映し、確実にフィードバックする仕組みの構築を図られたい。
	(4) クリーンセンター事務管理事業について、市民が使いやすい指定ごみ袋の規格を増やすことを検討されたい。		(1) 行政課題の高度化に対応するため、専門的なスキルを有する市職員の確保及び育成をさらに拡充されたい。
	(5) 高齢化が進展しているため、交通不便地域について、交通政策の充実に向け、伴走体制を強化されたい。		(2) 職員のさらなるOAスキルの確実な向上に向け、研修プログラム等の取組を強化されたい。
	(6) 酷暑により深刻化することが予想される倒木や落枝対策に対し、効果的な予防保全について情報収集、試行を行われたい。		(3) すべての部署において事務所衛生基準規則に定める一人当たり執務スペース約1.4坪(約4.8㎡)を確実に確保するよう着手されたい。
	(7) 耐震改修補助と断熱改修補助の組み合わせについては、その概念と効果を広く市民に理解されるよう、広報を強化されたい。		(4) 公共施設における詳細診断について、実施計画に位置付けるとともに、実施するための予算措置をされたい。
誰もが自分らしく暮らせるまち	(1) 個別避難計画の作成に当たり、福祉部門と防災部門との連携を一層強化し、ひなんさんぽ等を通じてより実効性を高めた計画とされたい。	(5) 労働条件審査については、各担当課が制度の趣旨を十分に理解した上で、実効性のある審査を計画的に進められたい。	
	(2) 民生委員・児童委員のタブレット活用に当たっては、操作への不安を解消できるよう、習熟度に応じた丁寧な研修を実施されたい。	(6) 市制施行60周年事業においては、千葉県知事の招へいが可能となるよう尽力されたい。	
	(3) 障害者就労支援センター運営事業のチャレンジドオフィスながれやまについては、一般就労に結びつけるための支援策をより一層充実されたい。	(7) ホームページを見やすく分かりやすいものとするとともに、YouTube等のSNS活用の強化を図り、市民に対するさらに分かりやすい情報提供を積極的に推進されたい。	

令和8年度流山市予算書は、流山市のホームページでご覧いただくことができます。

令和8年度予算 流山市

検索

または



市政に関する

一般質問

令和8年第1回定例会の一般質問には、14人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。



公明党 戸辺 滋

タブレット端末の家庭への持ち帰りについて

問 小学校低学年の児童がタブレット端末を毎日のように持ち帰ることは、発育段階の身体に多大な負担と影響を及ぼす恐れがあると考える。そこで、小学校低学年の児童を対象とした明確な負担軽減策を、各小学校に提示すべきと考えるがどうか。

答 小学校低学年の児童がタブレット端末を毎日家に持ち帰ることについて負担となっているという声があることは、承知しています。令和8年度から始まる第2期流山市GIGAスクール構想の基本方針の中では、小学校低学年の家庭へのタブレット端末の持ち帰りは推奨しないと明記しました。市教育委員会としては、引き続き子どもたちの発達段階に応じて、安全に教育を受けられる環境づくりに努めていきます。

ル構想の基本方針の中では、小学校低学年の家庭へのタブレット端末の持ち帰りは推奨しないと明記しました。市教育委員会としては、引き続き子どもたちの発達段階に応じて、安全に教育を受けられる環境づくりに努めていきます。



生物多様性の推進について

森田 洋一

問 豊かな自然を次世代に引き継ぎ、多様な生物が生息する環境の保全には、行政における生物多様性のプロの存在が不可欠である。本市の生物多様性の確実な保全のため、課題抽出や積極的提案ができる人材の育成が環境部門の急務ではないか。

答 環境部長 現在、生物多様性のプロといえる職員はいませんが、担当職員は前任者からの引き継ぎや市内の自然環境に精通する自然保護団体の方々に日々学びながら業務を担っています。また、主体的に学び、業務改善や課題解決に取り組む姿勢は重要です。人材育成の観点から、さまざまな部署の経験が必要であることも理解しています。一方、生物多様性は地域性やさまざまな生き物が関係しており、多くの知識を必要とする業務です。生物多様性を熟知した職員の育成は重要と考えるため、国や県が実施する研修会に参加するなど、生物多様性に関する知識が豊富であり、それを業務に生かせる職員の育成に努めてまいります。



公明党 桑畑 伴子

認知症施策について

問 希望を持って生活できるようにする手段として、神奈川県厚木市が行っている「認知症の人の希望を叶えるヘルプカード」を本市でも導入すべきと考えるがどうか。併せてヘルプマークやヘルプシールの活用促進を図るべきと考えるがどうか。

答 健康福祉部長 ヘルプカードについては、自分がやりたいこと、そのために周囲に助けてほしいことなどを記載することで、ご本人の安心につながるほか、理解者や応援者の輪が広がることも

あると考えるため、他自治体の活用事例などを参考に、取り組みを研究してまいります。また、議員ご指摘のとおり、現在配付しているヘルプマークやヘルプシールは主に障害のある方を対象にしているものであり、認知症の方へも申請があればお渡ししますが、今までは認知症の方からの申請はありません。今後は、認知症の方のヘルプマーク、ヘルプシール活用についても、周知を図ってまいります。



児童・生徒の通学支援策について

流政会 青野 直

問 児童・生徒の登下校時における見守りや同行・行動介助など、何らかの形の支援がなければ安全に登下校することが難しい児童・生徒への支援策について、当局の見解を問う。

答 学校教育部長 現状では、保護者に送迎の協力をいただいている場合があります。身体的、精神的負担があることを承知しています。また、近隣の自治体では、松戸市や柏市が福祉サービスの一環として通学等支援を実施していること

も把握しています。一方で、登下校時の通学路における日常的な見守り活動などは、文部科学省より平成31年に示された学校と教師とが担う業務に係る3分類においても、学校以外が担うべきと明記されていることなども踏まえ、登下校時に移動支援できる人材を市教育委員会が配置することは考えていません。通学支援は福祉サービスであることから、健康福祉部と情報共有を図ってまいります。



子ども参画と市民参加の一体化について

矢口 輝美

問 ①子ども会議や若者まちづくりプロジェクトの成果への評価は。②タウンミーティング形骸化の声をどう受け止めるか。③市民参加条例や自治基本条例を踏まえ、子どもと大人一体での市民参加をどう実現するか。

答 子ども家庭部長 ①子どもや若者が主体的にまちづくりに関わってほしいことも、若者と一緒のまちづくりを具現化するものと捉えています。総合政策部長 ②参加者の意見・提案には実現の

有無をその場で答えており、実現できる場合は市政への反映を実感できると思います。実現が難しい場合は理由説明と代替案提示に努めています。市民生活部長 ③自治基本条例ではこの意見表明の機会の保障を規定し、市民参加条例では子どもも大人も区別なく全ての市民に市民参加の機会を保障しています。事業内容や性質に応じた方法で市民に周知し、有効な意見を引き出し政策に取り込めるよう、今後も庁内周知に取り組みます。



病児保育事業の現状と今後の充実について

流政会 小沢 えみり

問 本市の病児保育事業における、①令和5年度から令和7年度までの年度ごとの延べ利用人数は几人か。②当日キャンセルは几人か。③病児保育の受入枠拡充や新たな施設整備、事業者支援について今後の方向性をどのように考えているのか。

答 子ども家庭部長 ①令和5年度が531人、令和6年度が613人、令和7年度が12月まで492人です。②令和5年度が127人、令和6年度が140人、令和7年度が12月まで126

人です。③子ども計画策定時の令和6年の調査では、回答者697人のうち「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」とは思わない理由は55.5%で、そのうち利用したいと思わない理由は「他人に見てもらいたくない」「不安」が53.2%、「保護者が仕事を休んで対応する」が52.2%でした。整備に緊急性を生じているとの認識はありませんが、過大な整備にならず、かつ需要に対応できるように検討を続けます。



本市の高齢者施策について

公明党 岡 明彦

問 高齢者が健康・生きがい・交流を享受し、世代を問わず楽しめ、多世代交流や通いの場の創出となる、電子機器を用いた娯楽・競技・スポーツであるeスポーツの活用を積極的に推奨し、普及啓発や市民への周知を促進すべきではないか。

答 健康福祉部長 通いの場に対しては、事例紹介や案内を行うことで、興味を持った方が自己判断で触れ合っていくものだと考えています。議員からもご案内いただきましたが、2月22日に生

涯学習センターで行われた流山市シルバー人材センター主催の「シルバーフェスタ」にて老人クラブ事務局のゲーム機を体験していただくブースを設置し、興味を持った方が体験する機会を設けました。引き続き、老人クラブや高齢者ふれあいの家などの活動の中で、イベント時に体験の場を設けることで、普及啓発や周知に努めてまいります。



議員が草稿を作成した記事において、特定の名詞の表記（「障害者」を「障がい者」と表記するなど）については、議員本人の意向を尊重して掲載しています。そのため、異なる表記が混在する場合があります。予めご了承ください。



**画期的！
「子どもの権利をもっと前へ」**
日本共産党 おだぎり たかし

問 全国的に、子どもの権利条約を活かした条例化運動が広がっている。
①市独自の条例化に向けたスケジュールはどうか。
②「こどもの権利侵害に対する第三者機関」の位置付けについて問う。

答 子ども家庭部長 ①市の状況に即した条例化について、市議会と検討を重ねてきました。この過程を経て、実効性ある条例策定には全庁的取り組みや連携が必須であるため、執行部が主体的に条例化を進めることが望ましいと整理した段階で

す。今後、条例化に向けた具体的取り組みを開始し、こどもを含む市民や関係団体との議論、市議会への説明・報告などを行い、令和10年度の条例施行を目指して必要な手続きを進めます。②国際連合は、救済機関の実効性確保のため、独立した第三者機関の設置を求めています。当該機能を有する機関を設置する場合、こどもの権利を包括的に保障する条例や救済に特化した条例により設置している先進事例を参考に、今後も議論を深めます。



「つぎはローコスト」は中止し市民要望を優先に
日本共産党 高橋 あきら

問 物価高騰や格差拡大の下、就学援助制度の充実が求められている。また、高齢化が進み、交通施策の改善・充実が急務だが、いわゆる「いざきロード」の2工区などが優先されている。不要不急の事業は中止し、市民の要望に応えるべきでは。
答 市長 今まで随時見直しを図りながら、就学援助制度や高齢者の移動手段の確保、交通施策の改善などを実施しています。流山おおたかの森駅前センター地区の道路整備は、車両と歩行者の交



**欲しいのは
石ではなくて橋**
日本共産党 植田 和子

問 利根運河の飛び石橋について、市民から「危険すぎる」との声がある。
①なぜあの形状なのか。
②安全対策は。
③「橋ではない、飛び石です」と言い出したが、広報ながれやまと工事看板では「飛び石橋」と謳っている。名称変更するのか。

答 土木部長 ①当該設置箇所と堤防に高低差があり、河川増水時に橋の待避作業などが不可能と判断し、飛び石形状となりました。②飛び石の天端部分には滑り止め効果のある自然石を使用し、飛

び石の間隔は40センチメートル未満とし、自力でアクセス階段の上り下りが可能な利用者が無理なく渡れる歩幅としました。手すりなどの設置は、国と協議中です。③あくまでも、工事としては整備工事として予算計上時および工事発注時の件名としましたが、今後は飛び石として管理していきたいと考えていますので、その語弊に関しては大変申し訳ありませんでした。



**まちの将来像の成果指標と
人材育成について**
流政会 近藤 みほ

問 流山おおたかの森駅前が転換期を迎えている。①まちづくりの成果を測る指標として、固定資産税評価額を活用してはどうか。②都市政策として、都市空間消費量の考え方、を研究しては。③部署の壁を超え、都市経営を学ぶ職員の育成が必要では。
答 まちづくり推進部長 ①評価額は、市場の状況も影響しますが、個別施策の直接的・間接的影響はあると考えるため、まちづくりの成果を捉える上での一つの参考指標にはなり得ると考えます。



**流山市消防団の
若手増員策について**
流山みらい うた 桜子

問 ①消防団の高齢化や、一度入団すると抜けにくいという心理的ハードル、若年層が入りにくい雰囲気があるのでは。②近隣市で導入が進む学生消防団活動認証制度を導入すべきでは。③機能別消防団員制度により若年人口を生かし増員できないか。

答 消防長 ①高齢化は把握していますが、若年層が入団しにくいとの声は把握していません。退団のしづらさは、他の団員の迷惑になるのではという強い責任感によるのではと考えます。②例年、

1人から3人の学生が本市に貢献したいとの思いで入団しています。就職活動のためでなく、自分たちのまちは自分たちで守るとい志のある団員を確保することで、実際の災害時に迅速かつ効果的に活動できると考えるため、現時点では学生消防団活動認証制度の導入は考えていません。③人数をそろえるために機能別消防団員制度を設けるのではなく、普段から訓練し統率が取れるようにすることで、消防団の役割を果たせると考えています。

一般質問通告一覧		
1	戸辺 滋	1 本市の自転車乗車用ヘルメットに関する施策について 2 教育現場におけるタブレット端末の課題について
2	森田 洋一	1 下水道事業経営について 2 生物多様性の推進について 3 観光施策における行政の役割について
3	桑畑 伴子	1 乳幼児健診のデジタル化について 2 認知症施策について
4	青野 直	1 児童・生徒の通学支援について 2 市民の健康づくりの取組について 3 流山本町のまちづくりについて
5	矢口 輝美	1 きょうだい児支援と、成長後も切れ目のない支援体制について 2 教職員が安心して教育活動に当たることのできる環境づくりと、こどもの権利を理解・尊重する学校環境について 3 こども参画と大人の市民参加を一体として捉えた市民参加のあり方について
6	小沢 えみり	1 本市における病児保育事業の現状と今後の充実について 2 本市の幼児教育のあり方について
7	岡 明彦	1 窓口DXの推進について 2 マイナンバーカードの普及啓発及び活用について 3 本市の高齢者施策について
8	おだぎり たかし	1 市長の政治姿勢について 2 すべてのこどもにやさしいまちづくりについて 3 中部地域の街づくりについて
9	高橋 あきら	1 施策の優先順位について 2 教育行政について 3 東部地域のまちづくりについて
10	植田 和子	1 クリーンセンターごみ焼却施設について 2 産後ケア事業について 3 利根運河エコパーク事業の飛び石橋について
11	近藤 みほ	1 ハラスメント対策について 2 都市の質を高めるまちづくりと税収基盤の将来像について
12	うた 桜子	1 認知症の生活支援型ケアについて 2 若者・子育て世代が地域に関わる仕組みづくりについて 3 自転車・歩行者など多様な利用者が共存できる通行環境の整備について
13	清水 大	1 障害者雇用について 2 共同親権について
15	楠山 栄子	1 本市の地域福祉の推進について 2 おひとり様(独居)高齢者の終活支援体制について

※通告番号14番 鈴木 ゆうすけ議員は、通告取り下げ

X・Facebookで情報発信中

流山市議会では、XやFacebookで本会議や委員会のインターネット中継に関する情報発信を行っています。どうぞご利用ください。

X

アカウント名: nagareyamagikai



Facebook

アカウント名: Shigikai Nagareyama

～令和7年度政務活動費 収支報告書などの公開について～

流山市議会では、地方自治法第100条第16項に規定する「透明性の確保」のため、積極的に政務活動費収支報告書などを公開しています。

令和7年度政務活動費収支報告などのホームページおよび市役所情報公開コーナーなどでの公開については、6月上旬を予定しています。

また、8月15日発行の『流山市議会だより』第196号にも詳細を掲載予定です。

政務活動費とは？

「議員が行う調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部」として交付するものです。本市では、会派または会派に属さない議員に対して交付しています。



※過去の政務活動費収支報告書などは、市議会ホームページをご覧ください。



流山市議会 政務活動費 検索



議員提出の可決議案

令和8年第1回定例会において可決された議員提出の議案(発議)は、次のとおりです。

- ◆発議第2号◆
初石駅西口利用者の安全性向上を求める決議について
- ◆発議第3号◆
重層的支援体制整備事業に対する方針転換に抗議し、十分な予算措置を求める意見書について
- ◆発議第4号◆
非核三原則の堅持を求める意見書について
- ◆発議第5号◆
物価高騰を超える高齢基礎年金額の引き上げを求める意見書について

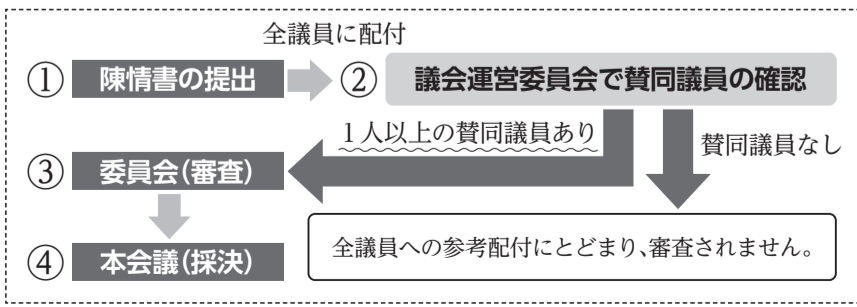
発議の内容については、市議会ホームページをご覧ください。



陳情の取り扱いを変更します

市の行政に関する意見や要望があるとき、市議会に陳情書を提出することができます。流山市議会では、原則、窓口に出た全ての陳情を委員会および本会議で議題としていましたが、議会運営委員会における協議の結果、令和8年第3回定例会(※)から、議会運営委員会で1人以上の賛同があったもののみ議題とする運用へと変更します。

(※令和8年第2回定例会の陳情受付期限の5月25日午後5時以降の受理分から変更となります。)



共同親権について

清水 大

問 令和8年5月より選択的ではあるが単独親権から共同親権へ制度移行される。①どのように周知をするのか。②子どもが不利益とならないよう、「通常のワクチン」とは何を指すのかを明示すべきと考えるがどうか。

答 子どもの家庭部長 ①市ホームページで周知をしていますが、それ以外に子ども家庭課の窓口などで子どもの養育費や共同親権に関し今後必要ないきたいと思っております。②「通常のワクチン」



おひとり様対象の終活支援体制について

楠山 栄子

問 国は、市町村単位でおひとり様対象の終活支援体制の整備を求めている。①本市はその必要性をどのように捉えているか。②実施はいつからか。③国で審議予定の社会福祉法の改正を踏まえた上で流山市高齢者支援計画を策定するのか。

答 健康福祉部長 ①本市としても、終活サポートの仕組みづくりは必要であると考えています。②民間事業者の動向を把握するとともに、他自治体の先行事例を精査し、本市に適した仕組みにつ

流山市議会だより

市内在住・在勤・在学の方対象

写真コンクール



作品を募集しています!

流山市議会では、『流山市議会だより』の1面に掲載する写真を募集しています。

身近な方や風景などを撮った、心和む写真のご応募をお待ちしています。

テーマ ・流山市内で撮影した四季折々の風景、祭りやイベントの写真
・学校の行事(運動会、修学旅行、文化祭など)の写真
※令和7年1月以降に撮影した、未発表の自作品

応募締切 令和8年6月1日(月)必着
※直接お持ち込みいただく場合は、平日開庁時間内にお越しください。

賞 入賞4点(8月号、11月号、翌年2月号、5月号にそれぞれ掲載)
入賞者には賞状、3,000円相当の商品券、作品が掲載された市議会だより10部を進呈します。

応募規格 カラープリント2Lサイズ(127mm×178mm)
※紙面の都合上、必ず「横長」の写真でご応募ください。
※データでの応募や、合成などの加工写真は不可。

- 人物が写っている場合は、必ず本人の承諾を得てください。
- ご応募いただいた作品は、返却できませんのであらかじめご了承ください。
- 応募いただいた方の住所は、コンクールの広報活動で使用させていただく場合があります。

応募方法など詳細・お問い合わせは

流山市議会事務局
TEL : 04-7150-6099 FAX : 04-7150-2863
メール : gikai@city.nagareyama.chiba.jp



詳細はこちら

委員会の審査状況

本会議で委員会に付託された議案などの一部を紹介します。
なお、掲載する議案などは、各委員会の委員が選定しています。

もっと詳しく知りたい方はこちら

各常任委員会で審査した議案の議決結果や委員長報告の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。



流山市議会 常任委員会審査概要・資料

検索

なぜ委員会で審査するの？

流山市議会では、議会に提出された「議案・請願・陳情」をそれぞれ担当の委員会に付託し、詳細な審査を行っています。各常任委員会の所管事項は、以下のとおりです。

委員会審査を含めた定例会の流れについては、『流山市議会だより第172号』の5面で詳しくご紹介しています。どうぞご覧ください。



『流山市議会だより第172号』はこちらからもご覧いただけます。

流山市議会だより第172号

検索

総務委員会

総合政策部・総務部・財政部・会計管理者・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項

議案5件を審査

議案第4号「令和7年度流山市一般会計補正予算(第7号)」

歳出では、令和8年度に予定していた小学校の校舎改修など、教育環境の整備を前倒しで行う経費などを追加し、歳入では、前倒しに伴う国庫支出金や地方債を追加するなど所要の補正を行うもので、既定の歳入歳出予算にそれぞれ22億7,084万7千円を追加し、補正後の予算総額を947億6,321万6千円とするものです。(※)

➡ 5対1で可決すべきものと決定。

総務委員会に付託された
その他の案件

議案第2号、第3号、第5号、第6号



教育福祉委員会

健康福祉部・子ども家庭部(※)・教育委員会の所管に属する事項

(※組織改編により、令和8年度から「こども未来部」となりました)

議案5件、陳情3件を審査

陳情第24号「多子世帯の保育料負担軽減」を求める陳情書」

令和7年第4回定例会に提出された陳情ですが、近隣市の軽減状況調査を求め継続審査案件となっていたものです。

陳情内容は、次の2項目です。

- ①令和8年度から、第1子、第2子の年齢や保護者の収入に関わらず、第3子以降の保育料を無償にしてください。
- ②①の実現により保育料の負担が軽減される世帯数と、①を実現するために必要な経費を明らかにしてください。

➡ 全会一致で採択すべきものと決定。

教育福祉委員会に付託された
その他の案件

議案第7号～第11号、陳情第3号、第4号



市民経済委員会

市民生活部・経済振興部・環境部・農業委員会の所管に属する事項

議案6件、陳情1件を審査

議案第12号「令和8年度流山市国民健康保険特別会計予算」

保険給付費、事業費納付金などの所要額を計上し、これらの財源として国民健康保険料、県支出金、一般会計からの繰入金などをもって充て、歳入歳出予算総額を対前年度比2億4,334万3千円、1.7%増の147億282万6千円とするものです。(※)

➡ 全会一致で可決すべきものと決定。

市民経済委員会に付託された
その他の案件

議案第13号～第17号、陳情第2号



都市建設委員会

まちづくり推進部・土木部・消防・上下水道局の所管に属する事項

議案12件を審査

議案第23号「令和8年度流山市下水道事業会計予算」

収益的収支では、収入を42億2,213万1千円、支出を42億3,156万8千円とするものです。

資本的収支では、収入を26億5,701万3千円、支出を34億2,750万3千円とするものです。(※)

➡ 5対1で可決すべきものと決定。

都市建設委員会に付託された
その他の案件

議案第18号～第22号、第24号～第29号



